

第12回 新宿区民会議【バリアフリー】検討資料

福祉課題は広いという視点から

ホームレス・外国人・カード破産・リストラ・精神障害・
自殺やうつ病・ニート・思春期・いじめ・虐待などについて

- * 自分自身に身近な出来事や経験として、それぞれの方が感じたり、
考えていることを具体的に地域生活に即して話し合ってみる。

参考：世話人会での意見交換から
(対策として)

① 知る機会をつくる

→ホームレス・精神障害・自殺やうつ病、思春期を含めた入門講座の開催

- * 行政でも取り組んでいるが、関心のある人しか参加しないという課題がある。

アイデアとして

これまでのシンポジウムや講演会形式のものでなく、地域の場で勉強会的に
開催したり、ラジオ体操や定期検診、スタンプラリーのように強制力を持たせ、
学習講座に参加した区民に（仮称「健康生き生き区民証」）を発行する。そして・・・

10年後には健康生き生き
区民1万人をめざす

② 権利擁護の仕組みの整備

住所不定で生活保護を申請できなかつたり、外国人のため権利が認められない等、
認知症や精神障害者には、成年後見制度が整備されつつある。

③ 「新たな地域関係」の構築

病気や障害について見識があれば、過剰な意識や警戒をせずにそっと地域の中で
見守ることができる。一昔前はそんな「ゆるやかな」地域関係が存在し、少しユニークな人ぐらいの認識で、共に暮らせていた。